

# 環境保全活動発表会 & 公開講演会の報告

## 6 グループが日頃の活動を熱く語る 主催:シニア自然大学校・地域貢献活動部門

去る12月3日(月)NS21ビル9階に於いて午前中は賞状授与と講演会、そして午後は活動発表会があった。冒頭、金戸副代表より「今回は第3回目となるが、環境保全に対するバックアップとして支援金制度を設け、さらに日々苦勞している内容を一般の人も含めて知ってもらう為の発表会であり、これからも協力をお願いしたい」旨の挨拶の後、6グループに対して活動を称えて賞状が授与された。



この後、神戸大学名誉教授の武田 義明先生による公開講演会があった。テーマは、「なぜ里山を保全しなければならないか」里山とは何かと言った里山の定義から始まり、里山の機能、開発や、活動の縮小、温暖化等による危機がある事。神戸市の再度山(ふたたびさん)、東お多福山、さらに吹田市の紫金山公園に於ける里山の保全と市民活動による成功例等を多くの写真やグラフを駆使して非常に詳しく且つ、丁寧にお話しされた。



金戸副代表から賞状の授与

つまるところ、里山の再生には時間がかかる事そして、保全活動には地道な努力が必要であると言う事。講演の後、どう言う里山にしていくなか、草原にするか里山にするかの分けの考え方はと言った質問が出てそれらに対して丁寧に答えられていた。



第二部はお昼休憩の後、午後1時から始まり、表彰された6グループの活動発表があった。(持ち時間20分)発表内容はスクリーンに映し出され、各グループは趣向を凝らし、「見やすく」、「わかりやすく」の工夫が伺われた。



1. 自然環境保全活動プロジェクト 発表者:北坂 正晃氏 作成者:北坂 正晃氏  
「大阪におけるカダヤシ・メダカ生息調査」  
外来種でメダカに似たタガヤシの生息調査を調査員を募集して336か所で実施



2. 東別院ふれあい道場 発表者:下野 武志氏 作成者:並木 良児氏  
「東別院・風友ふれあい」  
稲作、野菜の育苗から収穫まで、竹林整備等々。小学校との交流



3. 奈良・人と自然の会 発表者:鈴木 末一氏 作成者:鈴木 末一氏  
「すべては次世代の子どもたちのために」  
里山の景観整備、自然観察会、地域社会との交流、自然工作の出版。メンバー172名を抱える



4. 武庫ネイチャークラブ 発表者:日笠 正和氏 作成者:日笠 正和氏  
「自然に親しみ、自然を愛し、自然を大切に」  
宝塚・西宮を活動エリアに各種自然観察会、環境体験学習支援、自然工作、展覧調査等



5. 淀川自然クラブ 発表者:川村 敏之氏 作成者:内田 勝三氏  
「身近な自然と友達に」  
こどもの自然体験教室の実施、枚方市や山田池公園事務所の依頼によるフェスティバル参加等



6. 研究部 自然と環境科 発表者:村瀬 りい子氏 作成者:清野 八州一氏  
「持続可能な地域づくりに向けた淀川汽水域の保全活動」  
淀川汽水域の清掃活動、防災・歴史&まち歩き、小学生の水辺体験環境学習等

\*写真は発表者、作成者は報告書の作成者

最後に地域貢献活動部門の中田部門長の挨拶があり、「多くの子供達への働きかけの話を聞いて大変勉強になった。今回は9グループの応募から6グループが選ばれたが、もっと多くの応募を期待したい」と締めくくった。入口の受付付近には、来場者がより詳しく知る事ができるコーナーとして、発表グループの活動の詳細が掲示されていた。

短い時間では言い尽くせないご苦勞もあったことと思う。今後とも地域に根差した活動を期待したい。そして、社会貢献活動が広がっていく事を望むばかりだ。尚、出席者は102名(内一般参加者18名) (広報 中谷)